

授業日程表

	月日	時間	場所	実施方式	内容	担当
1	7.20(月)	10:50~11:50	P3	WebEx (ライブ/ オンデマ ンド)	中枢神経学講義 1 肉眼解剖	藤谷
2	7.22(水)	10:50~11:50			中枢神経学講義 2 末梢神経系、自律神経系、脊髄	藤谷
3	7.27(月)	10:50~11:50			中枢神経学講義 3 運動路	藤谷
4	7.29(水)	10:50~11:50			中枢神経学講義 4 体性感覚路	藤谷
5	8.3(月)	10:50~11:50			中枢神経学講義 5 脳神経1	藤谷
6	8.5(水)	10:50~11:50			中枢神経学講義 6 脳神経2	藤谷
7	9.2(水)	9:40~10:40			中枢神経学講義 7 血管、血液脳関門	藤谷
8		10:50~11:50			中枢神経学講義 8 髄液循環	藤谷
9		12:50~18:30	基1実, P2	対面	中枢神経学実習-1	全員
10	9.4(金)	9:40~10:40	P3	WebEx (ライブ/ オンデマ ンド)	中枢神経学講義 9 延髄	藤谷
11		10:50~11:50			中枢神経学講義 10 橋	藤谷
12	9.9(水)	9:40~10:40			中枢神経学講義 11 中脳	藤谷
13		10:50~11:50			中枢神経学講義 12 小脳	藤谷
14		12:50~18:30	基1実, P2	対面	中枢神経学実習-2	全員
15	9.11(金)	9:40~10:40	P3	WebEx (ライブ/ オンデマ ンド)	中枢神経学講義 13 間脳	藤谷
16		10:50~11:50			中枢神経学講義 14 大脳皮質	藤谷
17	9.16(水)	9:40~10:40			中枢神経学講義 15 基底核	藤谷
18		10:50~11:50			中枢神経学講義 16 辺縁系・海馬	藤谷
19		12:50~18:30	基1実, P2	対面	中枢神経学実習-3	全員
20	9.23(水)	12:50~18:30	N11,L3	対面	中枢神経学 試験	全員

備考 フェーズの定義については医学部行動指針参照

試験 フェーズ1：対面で、上記の通り。 フェーズ2, 3, 4：Moodleを利用した課題提出型のオンラインテスト

実習 フェーズ1~3：

時間は、6人ずつのグループを決めて、9/2,9/9,9/16のいずれかに設定約120人をを3日間。40人ずつに分割して実習を行う。実際の時間は、140分。それぞれのグループが集合時間を30分ずつずらして集合。ツアー形式で実習室内を移動していく。解剖学実習室は、通常120名ほどが実習可能であるが、一部屋に最大で、36人のみ入ることになる。また、換気も行われている。(第1実習室(解剖実習室)換気量 17,600m³/h、部屋の体積 856.8m³ 1時間当たりの換気回数 20.5回 冷房設備も完備。)感染防止対策は、学生側は、検疫期間として8/21から9/2まで全員、出雲市で健康観察期間とする。授業始めの健康状態の確認を行い手指消毒後、PPEとしてマスク、フェイスシールド、手袋、白衣装着を必須とする。教員側は、毎日の健康状態の確認、手指消毒後、PPEとして、マスク、フェイスシールド、キャップ、手袋、ディスポーザブルガウン、長靴、手術着を必須とする。感染者がいた場合、いつの時間にどれぐらい接触者がいたかは確認可能である。開始にあたり健康調査票を提出する。対面を原則とする。やむを得ない理由がある場合は、ビデオ(公開されている British Columbia 大学および Utah 大学の脳実習のビデオ講座を moodle 上に準備)とする。

解剖学は、単なる言葉の記憶の連続ではない。遺体に実際に触れることによって医師としての自覚、成長を促す側面もある。実際、有終会の会員のかたの手紙など説明ビデオ上にくみこみ、プロフェッショナルリズム教育にも資する。また、実際に形、重さ、臭いをもった臓器は、インパクトが大きい。百聞は一見にしかずであると考えられる。フェーズ4の場合は、ビデオ(公開されている British Columbia 大学および Utah 大学の脳実習のビデオ講座を moodle 上に準備)を準備している。ただ、全て、予定は未定であり、感染状況により柔軟に対応する。